

別添資料②

藤本(2010)より転載

表2 教師教育者スタンダードと指標

スタンダード1:教授能力 (Teaching)	
熟達した教師教育者は、教科と専門的知識、技能、研究を省察する気質、テクノロジーや評価に関する精通、教師教育における最も優れた実践について有することを証明し、教授のモデルを示す。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習者のニーズを満たすために効果的な指導の模範を示すこと ・教師教育者、現職教員、教員志望学生の間で、批判的思考や問題解決を実証し、促進すること ・現在の研究と優れた実践を結びつけるために授業内容や発言を改善すること ・生徒の省察を高めるために反省的な実践を実証すること
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な教科内容を実証すること ・教授領域において、適切で正確な専門的内容を実証すること ・テクノロジーの利用を含め、指導や評価方法の多様性を実証すること ・若手の教員や教師教育者を指導すること ・効果的な教授実践に關係する職能開発経験を促進すること ・実践が教育や教師教育に関する現在の政策や研究に提供していること 	
スタンダード2:文化的能力 (cultural competence)	
熟達した教師教育者は、文化的能力を活用し、教師教育における社会的正義を促進する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズを満たす多様性への理解と指導を高めるための実践を示すこと ・文化的に敏感な教育学に従事すること ・多様なコミュニティに専門的に参加すること ・教員志願者や現職教員、別の教育専門家の偏見を減らすための模範を示すこと ・社会的正義を促進する活動に従事すること
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭や文化、コミュニティを結びつける指導を実証すること ・生徒の発達段階、学習スタイル、言語能力、強み、ニーズに適した指導を認識し、策定するための模範を示すこと ・文化、宗教、ジェンダー、母語、性差、多様な能力にかかわらず、個々の生徒や家庭への積極的な関心を高めること ・自身の文化に関する知識や、すべての文化に共通する局面を実証し、教員にそのような知識を育成すること ・文化や差異の探究を促進すること ・多様な学習者のニーズを満たすために様々な評価ツールを教えること ・多様な教員や教師教育者を雇用すること 	
スタンダード3:学問研究 (scholarship)	
熟達した教師教育者は、研究に従事し、教師教育の知識基礎を拡大する学問に貢献する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教授や学習、教師教育における理論的、実践的課題を検討すること ・教授や学習、教師教育に関連する新たな知識を得ること ・新たな知識を既存の文脈や展望と結びつけること ・研究や発展的なプロジェクトに従事すること ・研究を、教育実践やプログラム、カリキュラム開発と適用させること ・研究やサービスを基盤にした補助金を得ること ・幅広い教師教育コミュニティに研究成果を普及させること ・アクションリサーチをおこなうこと
スタンダード4:職能開発 (professional development)	
熟達した教師教育者は、自身の実践について体系的に研究し、省察し、改善し、継続的な職能開発へのかかわりを示す。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の実践や学習について体系的に省察すること ・専門的な学習目標に焦点を当てた目的のある職能開発に従事すること ・研究や実践の深い理解に基づいて継続的に検討する教授と学習の哲学を発展させ、維持すること ・専門的団体や学会に参加し、省察すること ・人生経験を教授や学習に適用させること
スタンダード5:プログラム開発 (program development)	
熟達した教師教育者は、厳格で、相互に関連づけられ、理論と研究と優れた実践に基づいた教師教育プログラムの開発、実施、評価においてリーダーシップを発揮する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・理論、研究、最善の実践に基づいて、教師教育プログラムを策定、開発、修正すること ・新たなもしくは修正された教師教育プログラムの承認や認可を得るためのリーダーシップを発揮すること ・教師教育プログラムやコースの継続的な評価に積極的に貢献すること ・教師教育プログラムの基準の創設することや、地方、州、全米レベルで、プログラムの開発、承認、認可に焦点を当てるためのリーダーシップを発揮すること ・効果的な教師教育プログラムに焦点を当てた研究に貢献すること
スタンダード6:協働 (collaboration)	
熟達した教師教育者は、教授と研究、生徒の学習を改善するために、利害関係者に定期的に、重要な方法で協働する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な交流や学部の連携に従事すること ・学校環境における教師教育を支援すること ・教師教育に関する共同の意思決定に参加すること ・規律上の努力を奨励すること ・教師教育における相互の關係に従事すること ・改善された教師教育に貢献するための協働的なプロジェクトを開始すること ・協働を支援するために、教師教育革新のための財政的支援を得ること
スタンダード7:社会的提言 (Public Advocacy)	
熟達した教師教育者は、すべての生徒にとって質の高い教育を提供するために、学識豊かな、建設的な政策提言者としての任務を果たす。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティフォーラムや、地方の政策立案者との仕事を通して、すべての学習者にとって質の高い教育を促進すること ・教授や学習を支援し、改善するために、地方、州、全米レベルでの政治的な方針や規則を設ける關係に、情報提供し、教育すること ・教育専門職に影響を与える政策課題に積極的に取り組むこと
スタンダード8:教師教育の専門家 (teacher education profession)	
熟達した教師教育者は、専門家としての教師教育者の改善に貢献する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・地方、州、全米、国際的レベルにおける専門的団体に積極的に参加すること ・教師教育の団体の出版やプレゼンの原稿の編集やレビュー ・専門職を向上させるために策定された資源のレビュー ・教師教育で利用されるテキストやマルチメディア資源の開発 ・見込みがある教員志望学生の雇用 ・将来の教師教育者の雇用 ・専門的な卓越性へ向けるための同僚の指導 ・養成、インダクションプログラムの策定と実施 ・教師教育を高めるための生徒組織の支援 ・質の高い教師教育基準を主張すること
スタンダード9:将来展望 (Vision)	
熟達した教師教育者は、テクノロジーや体系的思考、世界的見地といった課題を考慮した教授、学習、そして教師教育のための展望を示すことに貢献する。	
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の進化に焦点を当てた学習コミュニティに積極的に参加すること ・教師教育の分野における革新を実証すること ・テクノロジーや新しい学習構造に早期の導入者の質を実証すること ・グローバルな課題の新しい知識を得ること ・研究に適した革新を支援すること ・グローバルな課題に関する新しい知識を自身の実践やクラスルームでの教授に関連付けること